



Title	まこと
Author(s)	猪岡, 正信
Citation	makoto. 1980, 31, p. 4-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86099
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

株式会社 大阪府食品流通センター

代表取締役社長 猪岡正信

機関紙題名の「まこと」は私の人生に一番相応しい言葉であり、ますので拙い私の過去より「まこと」に結びつく想い出を述べさせて戴きます。

昭和二十年八月終戦時に陸軍省で友人と共に淋しく悲しく歌った詩

其の前夜

一、一千年も生きる身ぢやなし一度の恋に

生命捧げて来たけれど、

二、誠心盡した初恋破れ

泣くくくつして洗髪

三、主に別れた心の痛手

何で癒そか月も無い、

四、死んでなろうか忍んで生きまよう

主のさきく、気にかかる、

五、三筋の糸に心を托し

何時か逢瀬の来る日迄

涙を流し乍ら生か、死か、迷い續けた人生に唯「筋」誠心誠意の御奉仕を誓って公務員の道に入る。それから二十五年後の昭和四十五年三月に「人類の進歩と調和」をテーマにした世紀の祭典日本万国博覧会が大阪で開催されるや大阪府儀典長として、

ナショナルデー七十二回、スベシャルデー十五回、大阪府独自の賓客十四件、その他外国議員団、使節団、視察団、他要人の接遇四十八件、及び表敬訪問等六十余件合せて二百余件、延べにして七〇〇余回数に達する

外国VIPの接遇に誠意を以て御奉仕申し上げた想い出は感慨無量なものがございます。去る四月に日本万国博覧会記念協会の芦原会長が主催された十周年記念式典にお招きを受け懐しい、深い感謝感涙に耽りました。

外国語に弱い私にどうしたら任務が全う出来るか、朝を夕なに悩みましたが言葉は通じなくとも人の「誠心」は必ずや話せる

と信じ六ヶ月に亘る大事業も無事完了してから、宮中で皇太子殿下御夫妻の御慰勞パーティーに

左藤知事にお伴もして拝謁の光栄に浴した時は疲れも吹っ飛び本当に「日本晴れ」でありました。終戦時に悩み書き続けた終戦日記より現在までの人生日記を今更の如く読み返してあります。昭和五十四年四月二十三日

岸大阪府知事が御就任されてから

ら間もなく六月より阪大阪府食品流通センターにお世話になり東洋一を誇る大阪府中央市場で「蔭の奉仕者」として誠心誠意お勤めさせて頂く私は本当に幸せ者でございます。終戦時より

毎日、毎年に反省を加え懺悔の上、毎年の正月に「人生戒訓」を短冊に書き一年間の座右の銘として掲げてきましたものより

「誠」に関するものが一番多く昭和二十三年戒(奈良世話課)

一、復員事務に一大改善を加えよう、

二、絶対にも負けるな誠意で通そう、

三、人に感謝しよう、

四、我が欠点を十分改めよう、

昭和二十六年戒(奈良世話課)

兼広報課)

一、焦るな一歩後退、二歩前進

二、義理を重んじ誠を徹しよう、

三、先づ築け我が足下より、

昭和二十七年戒(大阪府大手前職業補導所)

一、常に笑顔で明朗なる実行、

二、大膽細心、誠意で進めよう、

三、焦るな自己反省に徹しよう、

昭和三十六年戒(大阪府立大学 学生課)

一、冷静にして沈着、

二、健康に努力、

三、愛情と誠意で貫け、

昭和四十二年戒(大阪府立成人病センター)

一、人生意気に感じ唯一筋誠に奉仕しよう、

二、受容力を倍増し最大の忍耐に徹しよう、

三、急いで事は仕損する、一歩後退徐々に二歩前進、

昭和四十五年戒(大阪府儀典室)

一、万国博の無事完了に誠意と努力の全力投球、

二、驕らず威張らず焦らず一歩後退二歩前進

昭和四十七年戒(大阪府監査委員事務局)

一、破乱万又は去り静かに我が道を歩まむ

二、一歩後退二歩前進、正道と誠意に徹せむ、

三、人生五十四年余、悔なき我が家を築かむ、

昭和五十四年戒(大阪府農林会館兼大阪府農業信用基金協

会)

一、案するより生むが易い、よりい決断、

二、家は狭くも心は広かれ、奥

深い大望

三、入船あれば出船あり、価値ある人生、

昭和五十五年戒(大阪府食品流通センター)

一、人生六十二年余、悠々と歩もう、

二、今日勝つと思つな、明日がある、

三、信用は資本なり、常に誠意で接しよう、

前年を省みて我が足らない事、今年一年間の戒として努力すべき事を書き続けて参りましたが誠一筋が一番尊く重いものであった様に回顧されます。何時くまでも「まこと」でありたいと念じつつ、

(昭和五十五年五月三日記)

府政だより

大阪府衛生部では次の主な行事が行われる予定です。

○食中毒予防月間 期間 7月中

○献血思想の普及 期間 7月(夏期)

○結核予防週間 期間 9月24日～30日

○飼犬管理条例強調月間 期間 9月中

○し尿浄化槽(五〇〇人以上)維持管理のPR 期間 7月!